

事業 その5

なかのんPR事業

平成25年度に誕生した、なかのしまマスコットキャラクター「なかのん」。なかのんをより多くの人に知ってもらい親んでもらうことで、中之島の魅力をPRしたり、地元の人にふるさとへの親しみや愛着をより深めてもらうことができるといふ思いから、中之島観光協会がなかのんPR事業に取り組みました。

◇なかのんはこの1年間、地域内外で開催されるイベントへ多数出演し、会場を盛り上げ、中之島のPR活動に積極的に取り組みました。活動の中のいくつかをご紹介します。

▶6月13日(金)、地域サポートセンター虹の家の皆さんと姉妹都市フォートワース市の学生の皆さんが交流した機会に、なかのんがサプライズで登場。なかのんに抱きつく学生もいるほど大人気!



▼8月10日(日)に開催された中之島夏まつりでは、開会式などに出演。会場を盛り上げ、大人にも子どもにも大人気でした。子ども神輿には、なかのんをモチーフにした神輿も登場しました。



▶街頭で下校中の小学生に交通安全を呼び掛けました。子どもたちはなかのんを見つけると周りに集まり、なでたり話しかけたりしてくれました。



▼10月19日(日)に開催された中之島産業まつりでは、来場者と「なかのんクイズ」で盛り上がりました。なかのんにまつわるクイズを出題したところ、なんと参加者全員が全問正解でした。



▼11月22日(土)、23日(日)に埼玉県羽生水郷公園で開催された「世界キャラクターさみっつin羽生」では、来場者から「なかのん可愛い!」との声が聞かれました。



◇また、同事業では、うちわやミニタオルなどのなかのんグッズを製作し、イベントで配布したり、毎月発行の「中之島支所からのお知らせ」に掲載の「なかのん中之島クイズ」の正解者に抽選でなかのんグッズをプレゼントするなど、グッズを使ったPR活動にも積極的に取り組みました。さらに、「ゆるキャラグランプリ2014」へも初エントリーし、総勢1,699体のキャラクター中164位(ご当地キャラクターでは124位)と健闘!なかのん、そして中之島の知名度アップに繋がりました。なかのんの活動は多数のメディアにも取り上げられ、なかのん大活躍の1年となりました。

長岡市中之島地域ふるさと創生基金事業

ふるさとづくり
なかのしま Nakanoshima

第9号
2015.3.26

事業 その1

大口れんこん収穫体験ツアー

中之島の特産品「大口れんこん」の収穫を体験してもらうことで、その魅力のさらなる発見とPRにつなげようと、大口れんこん収穫体験ツアーを開催しました。大口れんこん組合の皆さんの協力を得ながら平成18年度から毎年開催している当ツアーも、今年で9回目の開催となりました。



▲9月27日(土)、秋晴れのもと、県内外から36名が参加されました。胴長と手袋を身につけた参加者の皆さんは、れんこん田に入ると、ひざ丈ほどの深さに足を取られながらも、組合の皆さんからサポートを受けながら大きなれんこんを掘り当て、とても嬉しそうな表情を見せていました。一方で、生産者の皆さんの日頃の作業の苦労を実感していました。

▶昼食は大口れんこん料理と新米コシヒカリのおにぎり。参加者と組合の皆さんが同じテーブルを囲み、参加者は料理の作り方を直接聞いたりしながら、おいしいれんこん料理を堪能していました。



●平成26年度は次の5事業を実施しました。

- 事業 その1 大口れんこん収穫体験ツアー ……表紙
- 事業 その2 伝統行事体験事業 ……2P
- 事業 その3 ようこそなかのしま! イメージアッププロジェクト事業 ……3P
- 事業 その4 中之島音頭を唄いつなぐプロジェクト事業 ……3P
- 事業 その5 なかのんPR事業 ……4P



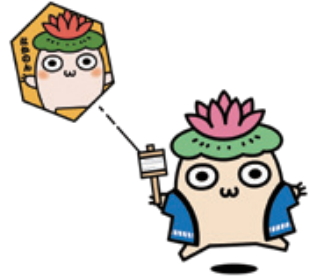
▶蓮の葉で飲み物を飲む「象鼻杯」や、蓮の実で花の形を作る「蓮の実アート」体験なども行われ、収穫体験のほかにも色々な貴重な体験をして楽しんでいました。参加者の皆さんからは、「大変貴重な体験ができました。」「料理がとてもおいしかった。」「また来年も来たい。」という声が聞かれ、たくさんの笑顔が溢れていました。



事業 その2

伝統行事体験事業

今町・中之島の伝統行事である「今町・中之島大凧合戦」の迫力や魅力を多くの人に味わってもらいたい、また、地元の中学生に実際に大凧に触れて体験してもらうことで、伝統行事の伝承を図り、後継者の育成につなげたいという思いから、伝統行事体験事業（市民観覧席設置、中之島中学校の大凧体験）を実施しました。



▶6月7日（土）から9日（月）の3日間行われた「今町・中之島大凧合戦」の会場内（猫興野橋上流左岸堤防）に市民観覧席を設置しました。3日間で市内外の多くの方々からご利用いただき、大凧合戦の迫力を近くで味わってもらうことができました。



▶大凧合戦最終日の6月9日（月）、晴天のもと、中之島中学校1年生の皆さんが合戦会場で「地絡め」（地上であらかじめ大凧を絡めて引き合う）を体験しました。事前練習として、5月27日（火）に凧組の皆さんから地絡めの方法について直接指導を受け、本番に臨みました。本番当日、生徒たちは今町側と中之島側の2組に分かれ両岸へ移動し、開始の合図が出ると、凧組の皆さんの指導のもと、一生懸命走りながら凧糸を引っ張り、絡めた大凧を引き合いました。勝負は中之島側の勝利となりました。当日は天候も良く、生徒たちの練習の成果もあり、きれいに絡んで舞い上がった大凧を見ることができました。生徒からは、「あっという間だった。楽しかった。」「地元の行事を誇りに思う。」という声が聞かれました。



◀9月6日（土）に行われた中之島中学校大運動会に応援用の大凧が展示されました。生徒たちが白凧に絵付けをして作成しました。どれも素晴らしい出来栄でした。

▶10月30日（木）、秋晴れのもと、中之島中学校3年生の皆さんが中学校グラウンドで大凧揚げを体験しました。この日揚げた大凧は、9月の大運動会の応援用として作成した大凧です。大凧の組み方や揚げ方について、凧組の皆さんから直接指導を受けた生徒たちは、凧組の皆さんの技に感動しながら、楽しそうに取り組んでいました。当日は風が強かったこともあり、3基の大凧は大空高く舞い上がりました。生徒からは、「とてもおもしろかった。」「小さい頃から見ていた凧揚げだが、とてもいい経験になった。」「中之島の伝統として全国に広めていきたい。」という声が聞かれました。



事業 その3

ようこそなかのしま! イメージアッププロジェクト事業



中之島の東の玄関口にあたる'04中之島記念公園のさらなる魅力アップを図り、訪れる人におもてなしの心で温かく迎えるメッセージを発信しています。7.13水害の記憶を風化させず、市民の憩いの場にしようという思いを含め、公園を管理されている中之島ラブフォー隊や地域の皆さんが、シバザクラ、ヒマワリ、ナノハナの植栽に取り組みました。

▶5月11日（日）、'04中之島記念公園で、中之島ラブフォー隊や地域の皆さんなど約70名が参加し、公園の法面にシバザクラの白色2,000株と桃色2,500株を植えたり、40基の木製プランターにヒマワリの種をまきました。平成24年から順次植えたシバザクラは順調に育ち、白いジュータンのような白色シバザクラの中に桃色シバザクラの「'04なかのしま」の花文字が鮮やかに現れ、写真を撮る見物客も多く見られました。



▶9月13日（土）には約30名が参加し、40基の木製プランターにナノハナの種をまきました。春には鮮やかな黄色のナノハナが咲き、公園を訪れる人を楽しませてくれることでしょう。



事業 その4

中之島音頭を唄いつなぐプロジェクト事業



平成8年に旧中之島町の町制施行10周年記念事業として全国から歌詞を公募し誕生した「中之島音頭」。誰もが口ずさめる唄として、関係者の熱心な取り組みによりこれまで唄いつながれてきています。地域住民への更なる普及・振興を図り、これからも中之島音頭を唄いつないでいこうという思いから、中之島音頭を唄いつなぐプロジェクト事業実行委員会が中心となり、小・中学校での普及活動や中之島音頭を唄いつなぐ大会の開催に取り組みました。

▶12月14日（日）、中之島音頭を唄いつなぐ大会が中之島文化センターホールで開催されました。当日は、歌唱部門に14名、踊り部門に2団体15名、地域の唄・芸能発表部門に2団体8名が出場しました。出場者の皆さんの素晴らしい唄声や踊りに、来場した約350名の聴衆は魅了されている様子でした。また、当日は、上通スマイルキッズ（上通小学校4年生22名）による踊りや、中之島中学校の茶道・箏部による箏の演奏なども披露され、会場を盛り上げました。歌唱部門では審査が行われ、入賞された皆さんに賞状とトロフィーなどが授与されました（入賞者は以下の皆さんです）。



一般の部
優勝 笹岡恵美子さん(猫興野)
準優勝 山田正義さん(中之島中条)
第3位 原田 敏さん(鶴ヶ曽根)

ジュニアの部
優勝 阿部 奏さん(中之島)
準優勝 田中蓮理さん(中条新田)
第3位 伊藤真紘さん(品之木)